

平成29年度 自己評価・学校関係者評価（高等部 分教室） 報告書

岐阜県立中濃特別支援学校

学校番号 113

自己評価

学校教育目標	○いろいろな人と関わり、地域で豊かに生活する力を育てる。 ・生き生きと自分を表現できる力を育てる。 ・健康な心と体を育てる。 ・主体的に生きる力と社会の一員として働く意欲を育てる。
評価する領域・分野	・進路指導 ・学校間連携
現状及びアンケートの結果分析等	・実習や作業学習について、保護者の評価が高い。 ・進路情報の提供や教育活動の公開について、より一層の努力が必要 ・関特別支援学校との連携について、より一層の努力が必要
今年度の具体的かつ明確な重点目標	・職業教育を充実し、生徒一人一人の進路目標である一般就労を実現する ・授業等、いつでも保護者に気軽に参観いただける分教室の雰囲気づくり ・関特別支援学校との連携の強化
重点目標を達成するための校内組織体制	・分教室に進路指導主事を配置 ・分教室会 ・研究推進委員会 ・関特別支援学校との調整連絡会
目標の達成に必要な具体的取組	・校内作業実習(1年)、就業体験(2年)、職場実習(3年)、作業学習(全)、 ・オープンスクール、学校祭(喫茶、作業製品販売) ・関特別支援学校との交流(行事、授業)
達成度の判断・判定基準あるいは指標	・進路実現状況、実習先の評価、報告会や説明会の保護者の評価 ・関特別支援学校と連携した行事や授業の回数、関係者の評価
取組状況・実践内容等	・進路実習時の付添いや巡回指導による取組状況の把握と、その後の指導 ・職場実習報告会、進路説明会、オープンスクール、学校祭 ・関特別支援学校との交流(学校祭に参加、音楽発表、授業交流)
評価の視点	評価
① 進路実現状況、実習先の評価	Ⓐ B C D
② 職場実習報告会の発表内容、オープンスクールの参加者数	A Ⓑ C D
③ 関特別支援学校との交流に関する関係者評価	Ⓐ B C D
成果・課題	総合評価
○ 分教室3年生全員が、希望通り一般就労を実現できた。実習先からは「挨拶ができる」との評価が高い。 ○ 職場実習報告会では、生徒自身が成長の過程を振り返り、後輩へのアドバイスを強調することで、発表内容が充実した。また、オープンスクールの保護者参加者数が、昨年度よりも増加した。 ○ 関特別支援学校の学校祭に参加し、関係者全員の評価が高い。また、授業交流の評判がよく、回数を増やした。 ▲ 保護者への案内文書の配付時期が遅く、また、出欠票の回収期限に余裕がないとのご指摘をいただいた。	A Ⓑ C D
来年度に向けての改善方策案	・案内文書の配付時期や出欠票の回収期限に十分に配慮するとともに、文書やすぐメール、電話連絡等により、保護者との連携をより密にする。 ・生徒の実態を踏まえ、関特別支援学校及び本校との連携について、より一層の強化を図る。 ・作業学習の研究を通じて、職業教育のより一層の充実を図る。

学校関係者評価 (平成30年2月5日実施)

意見・要望・評価等 ・高等部3年の進路についての話を聞くことができ、よかった。
--